

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合っ 話し合っ とともに学ぼう !

# ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.12 2024年2月発行 発行責任者: 校長 國分 孝明

## どようさんかん ぜんがくねん 土曜参観 (全学年)

2月も終盤を迎え、今年度もあと1ヶ月となりました。6年生にとっては卒業まであと14日となり、卒業式の練習も始まっています。1~5年生も各学年のまとめの時期となり、学習に仲間づくりにと励んでいます。それぞれが1年間がんばったと思えるような学年末にしていきたいと思ひます。

人権講演会のあとは、授業参観がありました。各学年それぞれ発表形式のものや人権教育についての授業などが行われました。

## じんけんこうえんかい ほごしゃ ねんせい 人権講演会 (保護者・4・5・6年生)



1月27日(土)に人権講演会を行いました。4~6年生は人権学習会として合同でお話を聞きました。今回の講師は、和泉市出身で、車いすマラソンの世界選手権に出場された西田宗城さんでした。実際のマラソン

用の車いすやレースの動画を見ながらお話を聞きました。マラソンとは言うものの実際はロードレースに近い競技で、車いすもレーシングカーを思わせるような形で、子どもが抱えきれないほど軽い車体となっていました。42.195kmを約1時間20分ほどで走るということで、時速にすると30km/hで走っていることになり、下り坂では80km/hにもなるとのことでした。レース中に曲がりきれずにクラッシュしてしまうこともあるそうです。そのような過酷なレースにチャレンジするために、日タトレーニングを重ね、今年行われるパラリンピックの日本代表をめざしているとのことでした。

このような話を聞くと西田さんはとてもすごいスポーツマンのように感じますが、今に至るまでには多くの困難があったことも語ってくれました。西田さんは、野球が大好きで大学でもキャッチャーとして活躍されていた



そうです。しかしながら、大学野球の公式戦の期間中に交通事故にあい、目が覚めた時は病院のベッドの上で天井を眺め、何があったのか分からなかったそうです。下半身不随になったことを後で知り、大きなショックを受けたそうです。その後は、今までの生活ができないことを悔やみ毎日、リハビリに向かうのもとてもつらい日々だったようです。しかしながらリハビリの先生の一言で景色が変わります。「できないことばかり考えてないで、できることを考えよう」この一言でポジティブ思考にシフトチェンジしたということでした。そこからは自分にできることを探し、車いす野球を見学したり、車いすバスケットをやってみたりと様々なことにチャレンジしたそうです。その中で出会った車いすマラソンに「かっこいい」というキラキラした思いをもち、今に至っているとのことでした。

講演後は少しの時間ではありますがマラソン用の車いすを触ったり、直接質問したりすることができました。また、子どもたちの感想には「ポジティブ」や「できることをさがす」といった西田さんからのメッセージをきちんと受けとった言葉がありました。



1年生は「すきないろ」ではプリントにある傘の絵を好きな色でぬり、その色について交流するものでした。子どもたちは一人ひとりに好きな色や好きなものがあり、それぞれ同じことやちがうことに気づいていたようでした。その気持ちを大切にすることが、友だちを大切にすることにつながることを学んでいました。



2年生は「こねこのなまえは」という絵本を題材に学習しました。子猫の名前を付けるにあたって、男の子か女の子かを観察するというお話です。木登りをしたりケンカをしたり、鏡の前でおしゃれしたりと・・・。「男の子だから〇〇」「女の子なら〇〇」ということにとらわれずに「自分らしく」することが大切ということを学んだようです。



3年生は、社会科の学習の「まちたんけん」で学習したことをまとめて発表しました。校区内の施設では北部市民交流センターや正覚寺、西浦鋼線などでの聞きとり学習で学んだことを発表し、泉佐野市内の施設として市役所、消防署、警察署などそれぞれのグループに分かれて気づいたことなどを発表していました。

4年生は、これからの自分について夢を語り自分が今がんばっていることを一人ひとり発表していました。緊張しながらも自分で書いた原稿をしっかりと読むことができました。「サッカー最高!!」と最後に大きな声で自分の気持ちを出しきっている子もおり、一人ひとりを認めることができる温かい雰囲気がありました。



5年生は「じがかけなかったライオンのうさま」という絵本を題材に識字についての学習をしました。識字の学習の中で「読み書きができないということはどういうことなのか」を考え、その不便さや読み書きのできることの大切さについて学びました。今



後さらに学習を進め、「学ぶこと」について考えていきます。6年生は「学校生活」「学校行事」「人権総合学習」「日々の学習」について6年間で学んだことや、それを中学校でどう活かすかについてのスライドを作成しグループで発表しました。懐かしいなあと感じるとともに、頼もしくなったなあと感じることでできる発表でした。3月には卒業を控えていることを思うと感慨深いものを感じました。

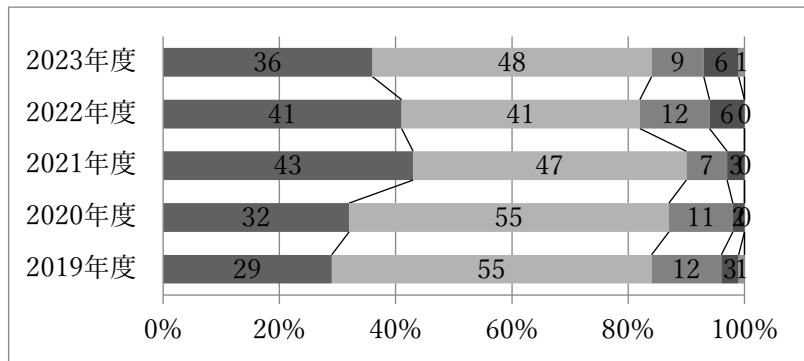


# がっこうきょういくじこしんだん 学校教育自己診断より

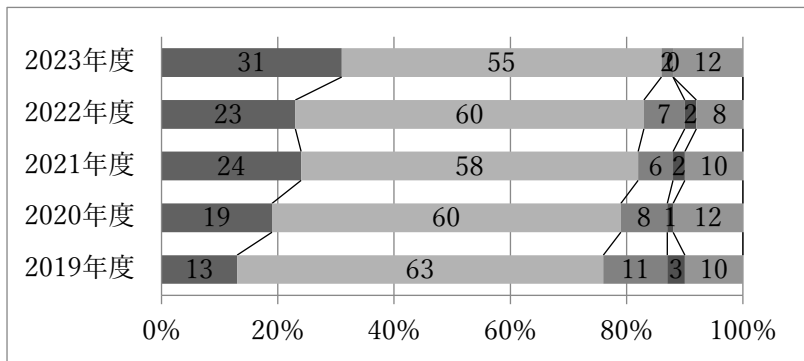
2学期は「学校教育自己診断」のアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。いただいたご意見は、これからの学校運営に反映させていきたいと思っておりますので、今後ともご協力くださいますよう、よろしくお願いたします。

それぞれの回答項目は、左より順に、「よくあてはまる」「あてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」となっており、過去5年の経年変化も併せて示しています。

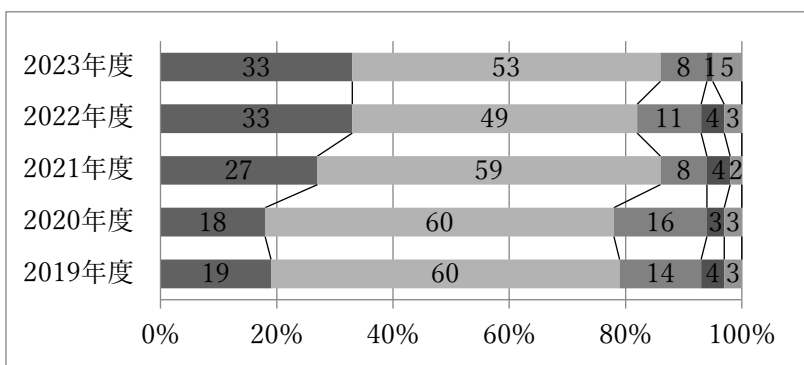
## 1. お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている



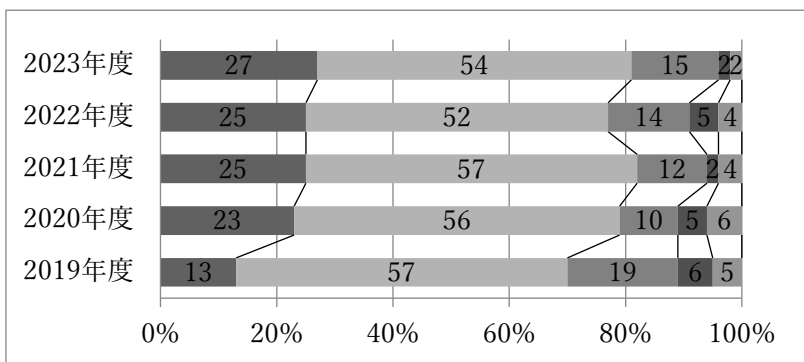
## 2. 学校は、全ての子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている



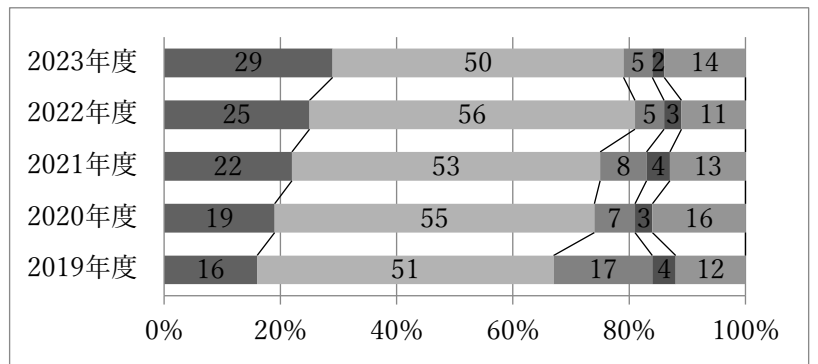
## 3. 学校は、子どもの学習や健康について相談しやすい



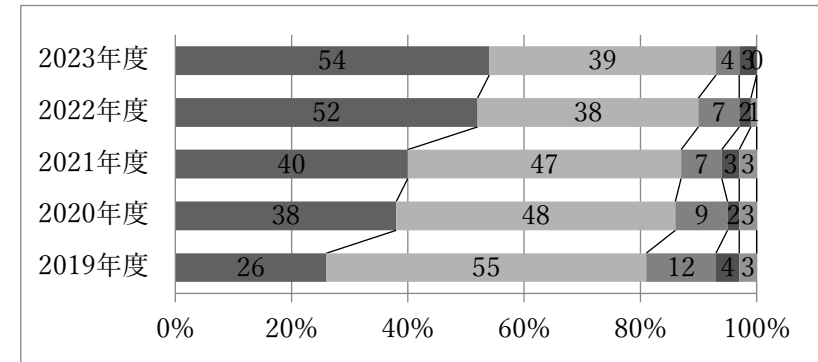
## 4. お子さんは、授業が分かりやすいと言っている



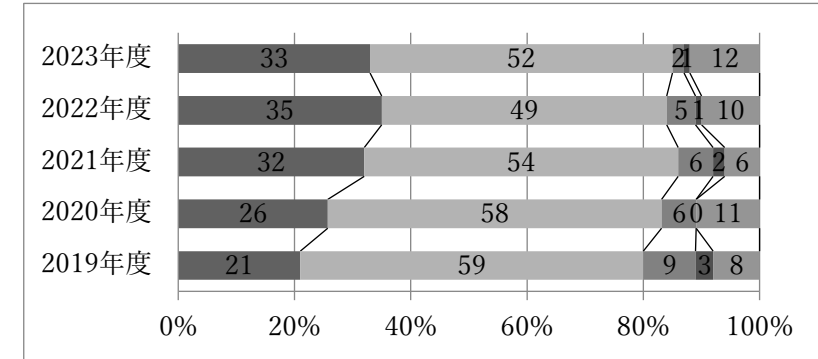
## 5. 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる



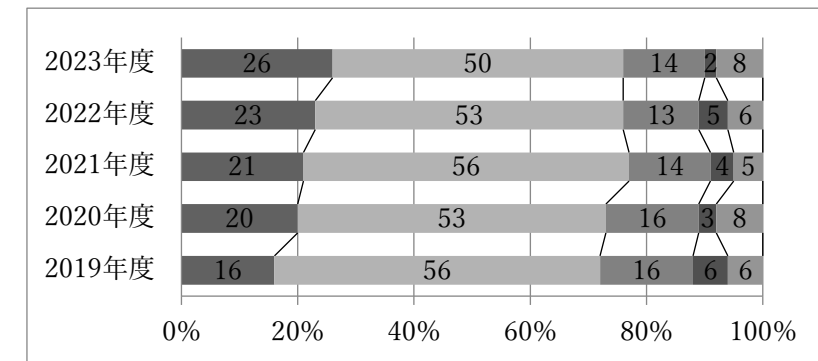
## 6. 学校は、家庭への連絡をていねいに行っている



## 7. 学校は、子どもに命を大切にする心や、ルールを守る態度を育てようとしている



## 8. 学校は、子どもの登下校時における安全確保に努めている



基本的には年をおごとに「よくあてはまる」の回答が増えているようです。学校の取り組みが少しずつ保護者の皆さまに伝わっていると思われる。それは、子どもたちが学校であったことを家庭でたくさん聞いてもらっていること、表れだと思えます。子どもたちが学校で何を学習し、どう思ったかなどをお家の方に聞いてもらうことで学習した内容が反復され、より効果的にもなります。今後ともよろしくお願いたします。

気になる点として「学校に行くのを楽しみにしている」の肯定的回答が少し減っているところがあります。この点に関しては教職員一同、課題としてとらえ、学習に遊びに子どもたちが楽しめるような工夫を考えていきたいと思っております。

次号には残りの質問についてとりあげますのでそちらもお読みください。